

**KÄRCHER®**

ケルヒャー家庭用スチームクリーナー
スティックスチームクリーナー
SC 1 クラシック
取扱説明書



はじめにお読みください

ご使用時の注意点

スチームクリーナーとは

準備しましょう

使い方

お手入れ・点検・保管

故障かな？と思ったら

補修部品・オプション

アフターサービス・保証

SC 1 CLASSIC / 2015.02
5.965-609.0

はじめにお読みください

「仕様一覧」

この度は、ケルヒャー家庭用スチームクリーナーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。

お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

※この製品は業務用ではありません。

※この製品は組立が必要です。

※この製品はテスト後出荷されているため、水分が多少残っている場合がございますが、製品の性能に問題はございません。

SC 1 仕様一覧

電源	100 V 50 Hz/60 Hz 共有
ヒーター出力	1200 W
スチーム吐出圧力	0.32 MPa (※ 1)
安全弁作動圧力	0.4 MPa (※ 1)
ボイラー加熱温度	143 °C
ボイラータンク容量	0.2 リットル
ヒートアップタイム(加熱時間)	約 3 分 (※ 2)
本体寸法 (長さ x 幅 x 高さ)	321 x 127 x 186 mm
本体重量	1.5 kg
電源コード長さ	4 m
<交換時間>	(※ 3) (※ 4)
安全バルブ用 O リング	約 100 時間 (約 100 回使用)
安全バルブ	約 200 時間 (約 200 回使用)
本体寿命	約 500 時間 (約 500 回使用)
定格使用時間	1 時間 (※ 5)
防水性能	IPX4

※ 1 1MPa = 10.2kgf/cm²

※ 2 水温 20℃の際の仕様

※ 3 作業累計時間

※ 4 1 回の作業で 1 時間使用した場合の回数

※ 5 定格使用時間＝電源スイッチが入っている時の合計時間

はじめにお読みください…製品仕様

- ・仕様一覧
- ・各部名称と機能
- ・部品一覧

ご使用の注意点…正しくご使用して頂くために

- ・注意点と絵の表示について
- ・ご使用時の警告
- ・電気に関する警告
- ・ご使用時の注意

スチームクリーナーとは…説明と各種洗浄方法

- ・スチームクリーナーのご説明

準備しましょう…各種準備について

- ・清掃の仕方
- ・作業を中断、終了する場合

使い方…各種使用方法

- ・きれいにする場所に合わせてアクセサリーを選びましょう
- ・安全にきれいに掃除するために
- ・作業を中断、終了する場合

お手入れ・点検・保管…各種注意点

- ・お手入れとすすぎ
- ・ボイラーの洗浄方法
- ・点検と保管

故障かな？と思ったら…状況に応じての対処法

- ・各種原因と対処方法について

補修部品・オプション…別売りのアクセサリー

- ・補修部品一覧
- ・オプションアクセサリー一覧

保証書・アフターサービス…お問い合わせ先

- ・保証書

はじめにお読みください

各部の名称と機能

■安全バルブ

ボイラーが加熱されると空回りします。冷めるまで開けることができません。*1

■アクセサリ ロックボタン

■本体一体型ヘッド

ヘッドにアクセサリを接続して使用します。

■スチームボタン

ボタンを押すとスチームが出ます。



ロック解除



ロック

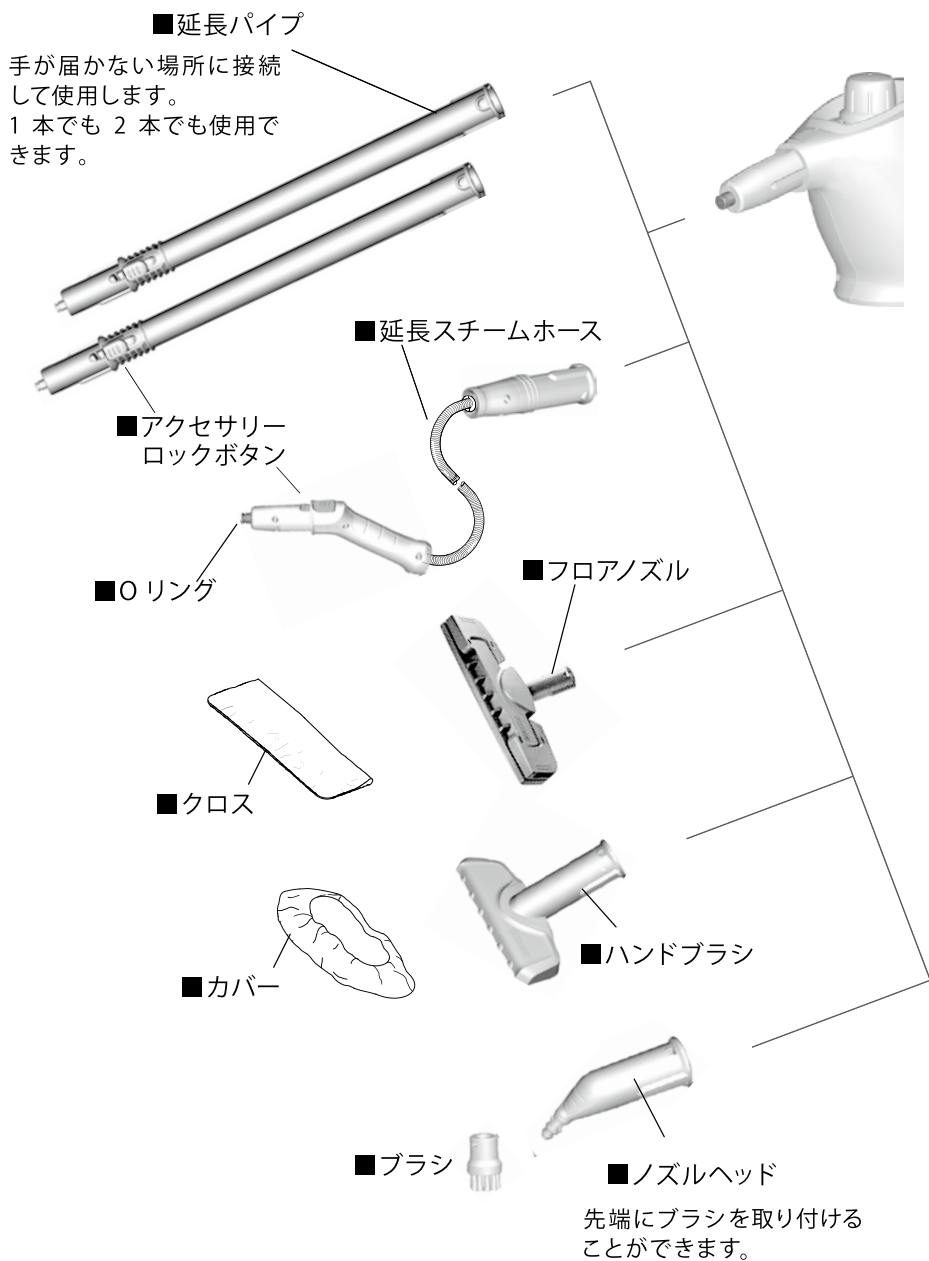
■電源スイッチ ON（押す）

■電源スイッチ OFF（押す）

電源を入れている間点灯します。



*1：ボイラー内のスチームが少なくなると安全バルブが開いてしまう場合があります。本体が十分冷えるまでは絶対に開けたり、給水しないでください。



はじめにお読みください

組み立て前の部品一覧

※本機をご使用いただく前に、全ての付属品がそろっていることをご確認ください。
※仕様変更により製品の形状と図が一致しない場合があります。

1



本体

2



延長パイプ 2本

3



延長スチームホース

4



ハンドブラシ 1個
カバー 1枚

5



ノズルヘッド 1個

6



フロアノズル 1個
クロス 1枚

7



ブラシ 2個 (黒・赤)

ご使用時の注意点

◎ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定されている内容」を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されている内容」を示しています。



の記号は「してはいけないこと（禁止）」を示しています。



の記号は「必ず実行してほしいこと」を示しています。



注意

洗浄は自己責任で行うこと

万一清掃対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合、もしくは正しく操作せずにけがを負った場合、当社では一切の責任を負いません。

ご使用時の注意点

ご使用時の警告

取扱説明書に従って正しく使用すること

火災・爆発・疾患・ケガの原因となります。

子供には触らせないこと

スイッチを入れたら放置しないでください。

子供が近づかないようにしてください。ケガをする恐れがあります。

改造禁止

火災、感電、ケガの原因になります。

ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を取り付けて使用しないでください。

火気のそばに置かないこと

本体が変形し故障や火災につながる恐れがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らないこと

感電する恐れがあります。

本体、電源プラグに水をかけないこと

感電やショートする恐れがあります。

スチームを人体に向けて使用しないこと

ヤケドの原因になります。

異音、異臭、過熱時は直ちに使用を中止すること

本体の異常を感じたら直ちに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。

雨天時に野外で使用したり、水を本体に直接かけたりしないこと

絶縁、劣化により感電やショートの恐れがあります。

スイッチを入れたまま電源プラグを抜かないこと

感電する恐れがあります。

本体を上向きに 30 度以上傾けないこと

お湯が出てきます。(P.20 をご参照ください。)

水の入れすぎに注意すること

0.2 リットル以上無理に入れないでください。お湯が出てきます。

相包用ビニール袋で遊ばないこと

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かないでください。

頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する恐れがあります。

汚染された可能性のある場所で使用する場合はマスクなどの適切な防護服を身に着けること

汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。

修理はケルヒャー ジャパン本社修理センターに依頼すること

個人の修理で生じたけが、事故、不具合に関しては一切責任を負いません。補修部品の販売はいたしかねます。

電気に関する警告

電源プラグやコードは正しく使用すること

火災・感電・ショートの原因となります。



タコあし配線はしないこと

複数の電気製品（パソコン・電子レンジ・ドライヤーなど）を同じコンセントで使用した場合、電源ケーブル、コンセントや屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。

コードを引っ張らないこと

引き抜くときは先端のプラグを持ってください。コードが損傷すると、感電やショートを起こし火災を引き起こす恐れがあります。

電源プラグは確実に差し込むこと

コンセントに接続した際にゆるみ、ガタつきがある場合、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。

電源プラグが変形している場合は使用しないこと

電源プラグが変形していたり、電源プラグの歯が曲がっている場合は、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。



本製品は 1200W 仕様です

他の電気製品と同じコンセントを共用できません。
洗面化粧台のコンセントを使用する際は、量大許容量をご確認ください。

交流 100V 単相電源専用

異種電圧で作動させた場合、火災の恐れがあります。
ラベルに記載された電源でご使用ください。

延長コードは15アンペア仕様を使用し、10m以上延長しないこと
規格以下の延長コードを使用した場合、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。15A以上の規格のものを最長 10m でご使用ください。

コードリールは完全に伸ばして使用すること

コードリールのコードを巻いたまま使用すると、コードリール、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。

ご使用時の注意点

ご使用時の警告

取扱説明書に従って正しく使用すること

火災・爆発・疾患・ケガの原因となります。



故障時に安全バルブが作動することがあります

スチームクリーナーには安全装置としてボイラー圧力が高くなるのを防ぐための圧力逃がし弁が安全バルブに組み込まれています。万一の故障時や定期メンテナンス不備によるボイラー内部へのスケール付着などによりボイラー内部の圧力が異常に高くなった場合、安全バルブの圧力逃がし弁が作動しスチーム（蒸気）を勢いよく上方に噴き上げます。

絶対に安全バルブの上で作業を行ったり、近づいたり、覗き込んだりしないでください。ヤケドの恐れがあります。

安全バルブは使用中触らないこと

使用中は絶対に安全バルブの上に手を当てたり、覗き込んだり、外したりしないでください。ボイラーが故障した場合スチームを噴出する場合があります。

本体に電源が入っている、もしくはまだ冷めていない時に、安全バルブを回さないこと

スチームが出なくなった後、スチームボタンを押し続けると、安全バルブが開く場合がありますが、本体が冷めるまでは、開けたり、給水したりしないでください。お湯が噴き出しヤケドをする可能性があります。

安全バルブを開ける場合は、十分冷めてから行うこと

安全バルブは本体が人肌以下まで冷却してから開けてください。熱い状態で開けた場合、お湯が噴き出し、ヤケドの原因となります。

安全バルブのOリングを確認すること

電源を入れる前に確認をしてください。

Oリングに亀裂、割れなどがある場合は絶対に使用しないでください。

200 作業時間ごとに定期点検を実施すること

例：1 日に合計 2 時間程度使用する場合、半年を目安に有償点検の実施が必要です。

点検を実施しない場合安全バルブからスチーム吐出、ボイラーの加熱不良、過熱、スチーム吐出不良などのさまざまな不具合が生じ、安全作業ができなくなります。また、点検を実施しない場合スチームが噴き出しヤケドをする恐れがあります。点検を依頼してください。

作業場所から離れる場合はスイッチを切ること

使用方法を知らない方が操作された場合、ケガをする恐れがあります。スイッチを入れたら放置しないでください。

常温水を使用すること

お湯を入れた場合、機器が正しく作動せず、ヤケドを負う場合があります。安全上必ず常温水を使用してください。



ご使用時の注意

取扱説明書に従って正しく使用すること

思わぬ事故の原因となります。

アクセサリ接続口の O リングが装着されていない、もしくは損傷している場合には使用しないこと
スチームがもれてヤケドの原因となります。

クロスクリップに指を差し込まないこと
クロス脱落防止のためクリップは鋭くなっています。
指を差し込まないでください。

本体を倒した状態で使用、または保管したりしないこと
ボイラーが損傷する場合があります。

熱に弱い床材の上で使用しないこと
熱で変形・変色する場合があります。

ガラス製品に傷がある場合は洗浄しないこと
割れる場合があります。



水以外の液体は絶対に使用しないこと
溶剤（シンナーなど）、油（ガソリン、灯油など）、アルカリイオン水、酸性水などを使用しないでください。使用した場合、本体が壊れる場合があります。

水道水のみで使用してください

洗剤や薬品を入れないこと
洗剤や薬品を入れた場合、ボイラーの破損、薬品火傷、健康に悪影響を及ぼす場合があります。
水道水のみでご使用ください。

延長スチームホースを無理に引っ張ったりねじったりしないこと
スチームホースが損傷します。

低温やけどに注意すること
本体や延長スチームホースを握り続けて使用すると低温ヤケドを負う場合があります。違和感や熱いと感じたら、直ちに使用を中止してください。

ご使用時の注意点

ご使用時の注意

取扱説明書に従って正しく使用すること

思わぬ事故の原因となります。

アクセサリーは確実に取り付けること

確実にロックされていない場合スチームがもれ、ヤケドの原因となります。

スチームボタンのロックをかけること

アクセサリーの着脱はスチームボタンをロックした状態で行ってください。ロックしていない場合、スチームボタンに誤って触れスチームが噴出しヤケドを負う場合があります。

手袋などの保護具を着用すること

作業時は手などに直接スチームがかかる場合や、汚れがはね返る場合があります。ヤケドやケガの防止のため適切な保護具を身に付けてください。

ガラス製品、窓ガラス、鏡の掃除には注意すること

・ 2 秒以上同じ場所にスチームをあてないでください。
・ ワイヤ入りガラス、厚板ガラスの掃除は特にご注意ください。
ガラスの膨張率の違いにより割れる場合があり、ケガをする恐れがあります。



洗浄前に材質を確認すること

洗浄の前に必ず洗浄物の材質を確認してください。スチームは 100℃ 近い温度で出ます。

洗浄部分の材質によっては変色・変形など洗浄物を傷める恐れがあります。目立たない部分で試してください。

本機は使用 50 時間ごとにボイラー洗浄（スケール除去）を行うこと
スケール（湯あか）がたまると故障の原因となり、安全弁が作動する場合があります。必ず純正ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）を用い、定期的にボイラーの洗浄（スケールの除去）を行ってください。

水を排出、補給する場合は冷却後に行うこと

必ず本体が人肌以下に冷却された後に安全バルブを外し、水の排出、補給を行ってください。本体が熱いうちに安全バルブを開ける、あるいは給水すると、お湯が噴き出しヤケドを負う場合があります。

凍結する場所には保管しないこと

凍結した場合、ボイラーが故障します。

スチームクリーナーとは

スチームクリーナーとは？

スチームクリーナーは圧力鍋としくみが似ています。

水を入れ、密閉したボイラーで約143℃まで熱し、スチームを発生させます。

吐出されるとき温度は約100℃と高温でさらっとしたスチームが特徴です。

油污れなど温めると落ちやすい汚れに効果的です。

水分が少ないのでおうちの中のさまざまな場所でお使いいただけます。

※熱に弱い材質、壁紙、プラスチックなどは変形・はがれなどの恐れがあります。

目立たないところで試してからお使いいただくことをお勧めします。

スチームクリーナーの基本の仕組み

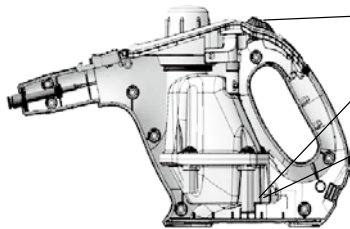
安全バルブ



スチームボタン

空焚き防止センサー

温度調節センサー



安全設計4つのポイント

温度調節センサー

ボイラー内の温度が一定温度に達すると加熱を止め、温度が下がると再度加熱を繰り返すので異常加熱の心配がありません。

空焚き防止センサー

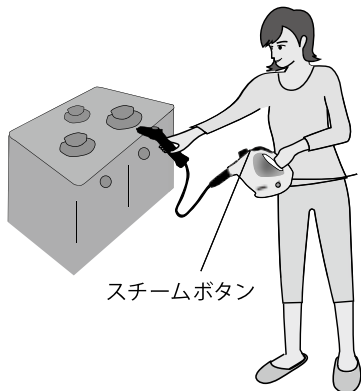
ボイラー内の水が無くなると、自動的に加熱を停止します。

安全バルブ

ご使用中は、給水部分を開けることができない安全設計です。

スチームボタン

スチームボタンを押してスチームを出します。スチームボタンを離すとスチームも止まるので安心です。



あると便利です

手袋

スチームホースが熱く感じる時

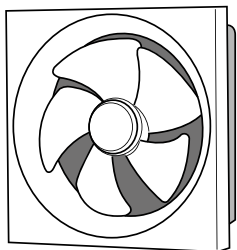
雑巾、雑布

スチームで溶かした汚れをふき取る時

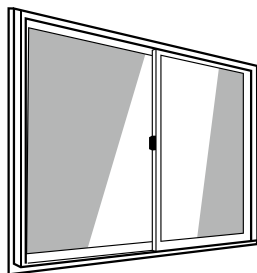
スチームクリーナーとは

家中さまざまなところに使えます。

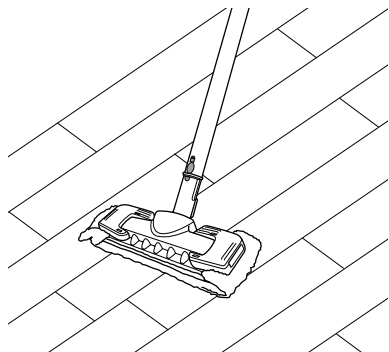
お台所のガスコンロや、
換気扇の油污れのお掃除に



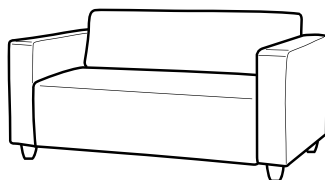
窓ガラスやサッシの
お掃除に



フローリングや畳の
お掃除もラクラク



ソファや車のシートなど
布製品のしみとりに



高温スチームの除菌能力について

ケルヒヤーのスチームクリーナーを正しく使用すると一般家庭の細菌を99.99% 除菌することができます。(表面の硬い場所を清掃した場合)

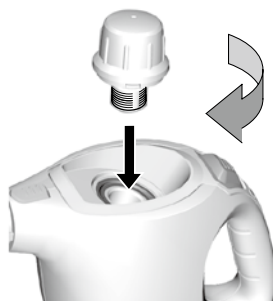
準備しましょう

「給水」

① 水を入れましょう



② 安全バルブをしめる



本体が十分冷めてから安全バルブを取り外し、水（30℃以下）を最大0.2リットルまでゆっくりと補給してください。水を入れすぎると、スチームが水っぽくなり、お湯がでます。0.2リットル以上無理に入れないでください。

安全バルブのOリングに異常がないことを確認し、安全バルブを取り付けてください。Oリングを外した場合は装着部位の溝に戻してください。

※加熱を始めると安全バルブは空回りして開けることができません。本体が人肌以下に冷めると再び開けることができますようになります。



注意

- 常温水を使用すること
- 水以外の液体は絶対に使用しないこと
溶剤（シンナーなど）、油（ガソリン、灯油など）、アルカリイオン水、酸性水などを使用しないでください。使用した場合、本体が壊れる場合があります。水道水のみで使用してください。
- 安全バルブは必ず本体が冷めてから開けること
- 本体が熱いうちは水を入れないこと
中からお湯が噴き出し、ヤケドを負う場合があります。
- スイッチを切って、本体が十分冷えてから給水すること
水を入れる際は、安全のためにスイッチを切り、コンセントを抜いてから入れてください。



注意

- 安全バルブのOリングを確認すること
給水ごとに確認をしてください。Oリングに亀裂、割れなどがある場合は絶対に使用しないでください。



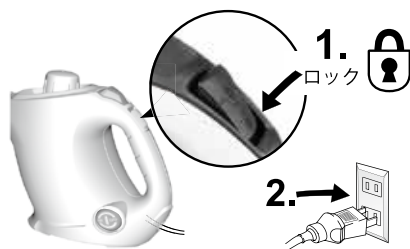
注ぎ口の水はタオルなどで拭い取ってください。
水が注ぎ口に残っている場合、加熱を始めた際に蒸気となり、スチームもれと間違う場合があります。

準備しましょう

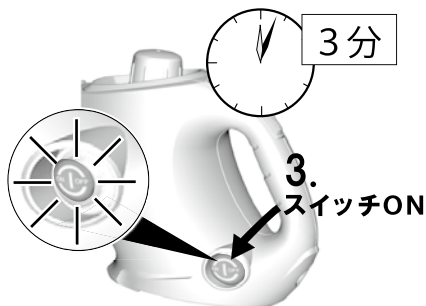
準備しましょう

「電源とヒートアップ」

- 3** スチームボタンをロックして電源プラグをコンセントに差し込む



- 4** スイッチを入れ約3分待つ



電源を入れる前に、ボイラー内に給水してください。

※加熱時間は水温により異なります。



電源を入れる前に、必ずスチームボタンをロックしてください。



注意

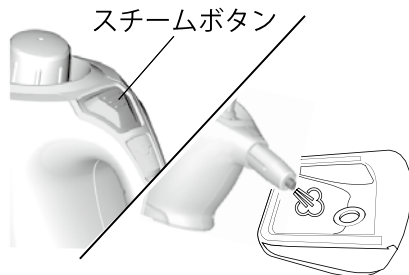
本製品は 1200W 仕様です。

- コンセントは他の電気製品と共有せず、単独でお使いください。
- 洗面化粧台のコンセントを使用する際は、最大許容量をご確認ください。

5 スチームボタンのロックを解除する



6 スチームを出す



ロック/ロック解除ボタン

このボタンは、簡単に
ロック状態が変更できないよう
多少固めになっております。

スチームボタンを押すと、スチームを出す
ことができます。

ヒント

使い始めはスチームの出が安定しない場合
があります。安定するまでスチームボタン
を押してスチームを出し続けてください。

使い始めはお湯が出ることがあります。

洗浄を始める前にスチームボタンを押し、
布や排水口などに向けてお湯を出してくだ
さい。スチームが安定すれば準備完了です。



スチームボタンを押す際に、
ロック解除を押してください。



使用しない時、アクセサリ
を交換する時は、必ずロック
してください。



注意

■作業を開始、中断した場合

洗浄作業を行う前に、必ず布などに
向けてスチームホース内のお湯を出
し、スチームが出るのを確認してから
洗浄を行うこと。

作業を中断(約1分以上)した場合、
スチームホース内にお湯がたまり、再
度使用する際にノズルから吹き出る場
合があります。

■本体を上向きに30度以上傾けたり、 倒した状態で使用しないこと

ボイラーが破損する場合があります。

■使用中に本体を揺さぶるとお湯が 出る場合があります。

準備しましよ

使い方

「きれいにする場所に合わせてアクセサリーを選びましょう」

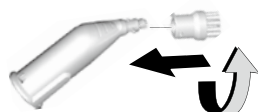
サッシ
タイルのカビ
キッチンや
換気扇の
油汚れ

7 必ずスチームボタンをロックして付け替えましょう。

ノズルヘッド+ブラシ+延長スチームホース

＜ブラシの取り付け方法＞

ノズルヘッド先端部の爪とブラシの刻みを合わせて差し込み、時計回りに回して固定します。

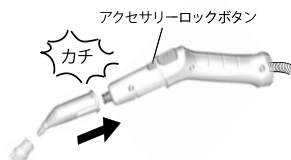


＜取り外し方法＞

ブラシを反時計回りに回し、引き抜いてください。

＜ノズルヘッドの取り付け方法＞

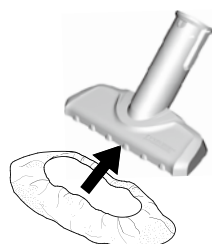
カチッと音がするまで差し込みます。



＜取り外し方法＞

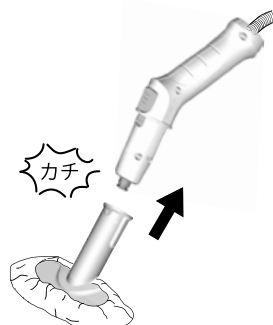
アクセサリーロックボタンを押しながら引き抜きます。

ハンドブラシ+カバー+延長スチームホース



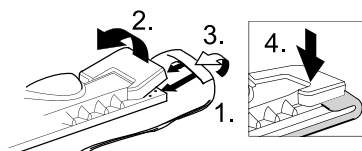
＜カバーの取り付け方法＞

ハンドブラシに被せて使用します。



フロアノズル+延長パイプ

※クロスクリップに指を挟まないこと



＜取り外し方法＞

クロスをフロアノズル幅にたたみ両側をクロスクリップで挟みます。

※フロアノズルの使用方法については P22 をご覧ください。



ソファ
網戸
レンジフード
車のシート
ふきそうじ

畳
フローリング
カーペット

「スチームの温度は噴き出し口で約 100℃です。材質や耐熱温度によっては使用できない場合があります。あらかじめ目立たないところでお試ください。」

延長スチームホースを使わずに、直接本体にブラシやハンドブラシを接続する事も出来ます。本体を揺らしすぎると、お湯が混ざる事がありますので、気になるときには、延長スチームホースをご利用ください。

サッシ



サッシレールの砂ぼこり、汚れはブラシをつけてこすります。細い溝の汚れはノズルヘッドで吹き飛ばします。

換気扇



換気扇やガスレンジにこびりついた汚れは、ブラシにタオルなどを巻き付けてスチームを出しながらこすります。ブラシにタオルなどを巻きつけて使用すると、洗浄対象物を傷めません。汚れに洗剤をつけてから行うとより効果的です。

ガスレンジ周り



ソファー



ハンドブラシにカバーを付けてやさしくなぞります。
同じ場所に長く当てず、動かしながら使います。
カバーがだんだん汚れてくるので交換しながら使しましょう。
※壁紙は、熱でのりがはがれることがありますので、短時間で仕上げましょう。

車のシート



網戸



使
い
方

階段



玄関



キッチンの床



フロアノズルにクロスを取り付け、スチームでクロスを温めて汚れを拭き取ります。

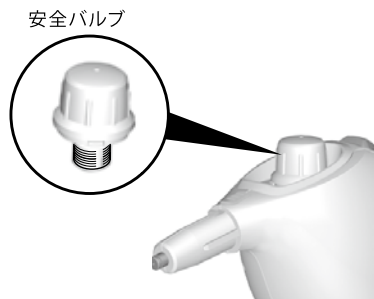
<ヒント>スチームを出し続けるとクロスがぬれてきますので

① スチームボタンを 3 秒程押し、クロスを温めます。温まるとボタンを放して 3 秒程拭いてこの手順を繰り返します。 ② スチームの吐出量が多い場合は、一旦スチームボタンから手をはなしてスチームを止めてください。 ③ クロスがぬれてきた場合はクロスを交換してください。

ゴシゴシこするというより、軽くふき取るように動かしてください。激しく動かしすぎると、お湯が混ざる事があります。

使い方 「安全にきれいに掃除するために」

安全バルブの空回りについて



【安全バルブ】ボイラー内にスチームが残っている時には、安全バルブが空回りしてふたを開ける事ができません。スチームが出なくなった後、スチームボタンを押し続けると、安全バルブが開く場合がありますが、本体が十分冷めるまでは絶対に開けたり、給水をしてください。お湯が噴き出しヤケドする場合があります。

【熱いうちに水を補給するのは危険】

安全バルブが開いても、スイッチを切り、コンセントを抜いたうえで、本体がひと肌程度に冷めるまで待ってから給水を行ってください。本体が熱いうちに安全バルブを開けたり給水すると、お湯が噴き出しヤケドする場合があります。

使い始めの注意点



【使い始めは、湯が出ます】

洗浄を始める前にスチームボタンを押し、布や排水口などに向けて湯を出し、しっかりスチームが出る状態になってから必要なアタッチメントを取り付けましょう。特に床掃除の時などは、それが原因で床がぬれてしまう事もあります。

【お湯が混ざって出る場合】

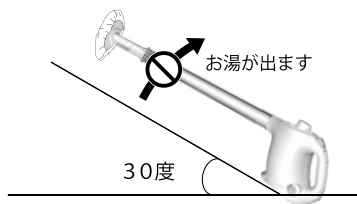
使い始めだけでなく、しばらく経っても水分が多めのスチームが出る場合は、

①水を入れすぎている可能性があります。スチームが落ち着くまで濡れてもよい場所に向けて出し続けてください。計量して0.2リットル以上入れないようにしましょう。

②スチームが出る側を上になげたり、本体を揺らし過ぎた可能性があります。本体を水平または下向きにして、延長スチームホースでお掃除しましょう。

■ 30度以上傾けないでください。

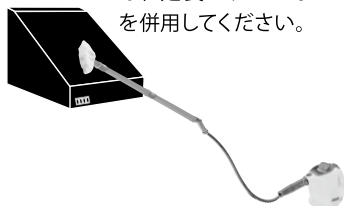
本体を上向きに30度以上傾けるとボイラー内の湯が出ます。



注意

■ 高い場所のお掃除

高い場所の清掃をする時は、延長スチームホースを併用してください。

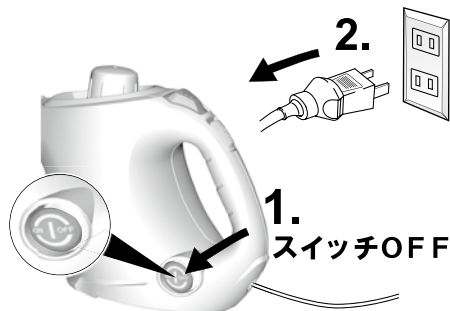


使い方 「作業を中断、終了する場合」

⑧ 作業を中断、終了する場合



⑨ スイッチを押して電源を切り、電源プラグを抜く



作業を終了する場合は、本体が人肌以下に冷却された後、安全バルブを開けてボイラーに残った水を捨ててください。

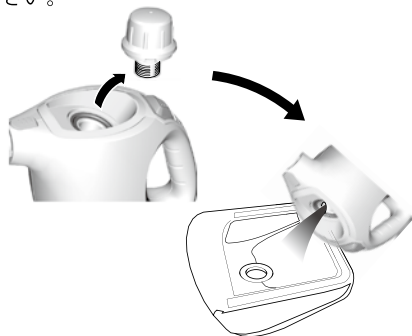
※ボイラーが冷却されるには、約1時間程度かかります。

※使用後は毎回ボイラーの水を捨ててください。

本体が熱いうちは、安全バルブが開いても絶対に水を入れないでください。

本体が熱いうちに安全バルブを開ける、あるいは給水すると、湯が噴き出しやケドする場合があります。

水を入れる際には、安全のためにスイッチを切り、コンセントを抜いてから行ってください。



注意

■作業を中断した場合（約1分以上）
再び洗浄作業を行う前に、必ず布などに向けてホース内の湯を出し、スチームが出るのを確認してから洗浄を行うこと。

■作業を中断（約1分以上）した場合、
スチームホース内に湯がたまり、再度使用する際にノズルから噴き出する場合があります。
※延長スチームホース取付時



スイッチを切った後、電源スイッチのランプが消えていることを確認してください。

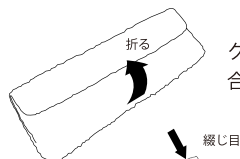


高温注意

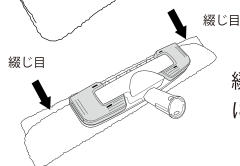
水の補給時、または湯を捨てる際に中の湯が噴出する場合がありますので、ゆっくりと注意して作業を行ってください。

〈クロスの上手な取り方〉

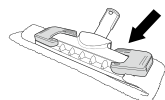
フロアノズルのクロスクリップを上げ、三つ折にしたクロス的一片方を挟み、クリップを下げる。もう片方のクロスの端をひっぱりながら固定クリップに挟み固定する。



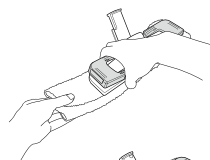
クロスをフロアノズルのサイズに合わせて3つ折りにする



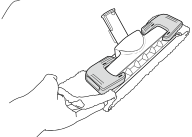
緩じ目をフロアノズルの底面側に
にする



押すとクリップが上がる

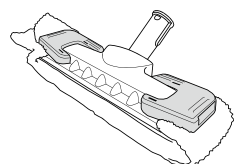


クロス的一端を引っ張り、
クロスを張った状態にする



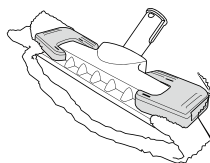
なるべく緩まないようにクロス
をクリップに押し込みながら
挟む

良い例



装着したクロスに緩みが無い

悪い例



クロスが緩んでいる
緩みがあるとよれ易い



注意

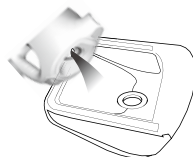
クロスクリップに指を差し込まない様に注意すること
クロスクリップ部分は、クロスが脱落しない
ように鋭くなっています。

10 本体のお手入れ



ぬるま湯か中性洗剤を浸した柔らかい布を固く絞って拭き取ってください。
使用したカバー（ハンドブラシ用）は、中性洗剤で洗い、乾かしてください。

11 ボイラーのすすぎ （使用10回ごと）



スケール（湯あか）の付着を予防するために、ボイラーをすすいでください。

すすぎの目安：使用10回ごと

使用を重ねていくとボイラー内部にスケール（湯あか）が付着し、温度が上がりにくくなります。また、スケールの付着は、故障の原因にもなります。

定期的なお手入れでスケールの付着を防ぎ、安全にご使用ください。

すすぎ方

①スイッチを切って電源プラグをコンセントから抜き、本体を人肌以下に冷やしてください。

②安全バルブを外し、本体を傾けてボイラーに残っている水を全て捨ててください。

③ボイラーに清水を入れ本体をよく振り、その後水を捨ててください。

この動作を3回繰り返してください。

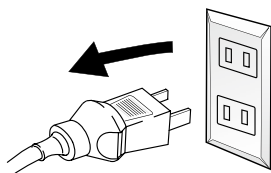
すすぎが不十分な場合故障の原因となります。

※水がこぼれないようにご注意ください。

※本体カバーの端などでケガをしないように十分ご注意ください

12 ボイラーの洗浄方法（ボイラー洗浄剤はオプションです）

1



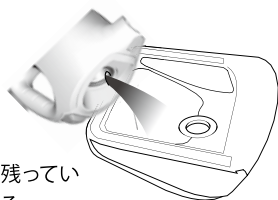
電源を抜いてください

3



ボイラー洗浄剤を溶かしてボイラーに注ぐ

2



ボイラーに残っている水を捨てる

4

安全バルブを外した状態で8時間放置
※加熱しないでください



- ①電源プラグを抜き、ボイラー内に残っている水を捨て清水を入れてすすいでください。
- ②ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）を0.5本用意してください（スティックは簡単に折れます。）
- ③容器に0.2リットルのぬるま湯を用意し、ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）を入れ、溶かしてからボイラーに注いでください。
- ④安全バルブを外した状態で約8時間放置してください。
- ⑤8時間後ボイラーの水を捨て、清水で3回以上すすいでください。
- ⑥安全バルブを軽く閉めてください。
- ⑦室内に保管してください。

※余ったボイラー洗浄剤（スケール除去剤）は、湿気のない場所で保管してください。
※水がこぼれないようご注意ください。
※本体カバーの端などでケガをしないように十分ご注意ください。

※ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）は、オプションアクセサリー P.29 を参照

ボイラーの洗浄は使用50回毎または、ボイラー内に湯あかが付着した時に行ってください。



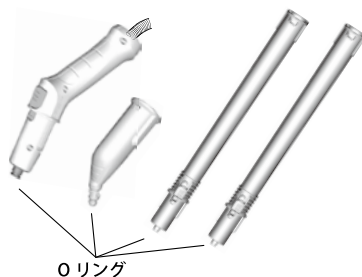
注意

- お手入れをする場合には必ず機械が冷めた状態で行うこと
- スイッチを切り、電源プラグを取り外した状態で行うこと

13 安全バルブと O リングの交換



14 アクセサリー接続口の O リングについて



安全バルブの O リングに異常がないことを確認してください。

O リングを外した場合は装着部位の溝に戻してください。

安全バルブ

約 200 作業時間ごと交換
(作業約 200 回ごと)

安全バルブ O リング

約 100 作業時間ごと交換
(作業約 100 回ごと)

アクセサリ（延長スチームホース・ノズルヘッド・延長パイプ）接続口の O リングが装着されていない、もしくは損傷している場合、スチームもれが発生するおそれがありますので、新しい O リングを装着してください。



注意

- 安全バルブ、O リングが損傷するとスチームもれが発生する恐れがあります。
- 規定時間以内でも損傷がある場合は交換してください。

■補修部品のお買い求めは販売店、あるいはケルヒャー カスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

15 定期点検について

定期点検



200作業時間後の点検

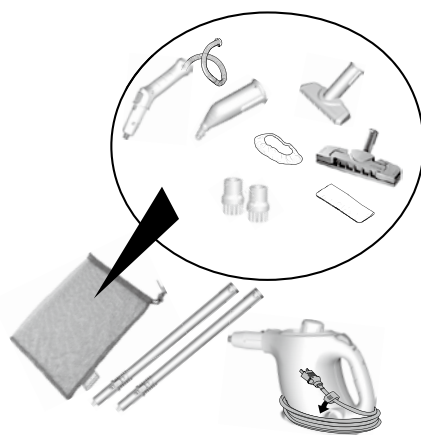
約200作業時間※（作業約200回）
ごとに有償点検をお受けください。

500作業時間後の点検

本機の耐用時間は（ボイラー寿命）は、
約500作業時間 ※（作業約500回）
です。

※作業時間とは、保温状態の累積時間です。

16 保管方法



■点検のご依頼は

お買い求めの販売店、またはケルヒャーカスタマー
サービスセンターまでお問い合わせください。

付属品は、お手持ちの巾着などに入れて保管
することをお勧めします。



注意

- 点検を実施しない場合、安全バルブからのスチーム吐出、ボイラーの加熱不良、過熱、スチーム吐出不良などのさまざまな不具合が生じ安全作業ができなくなります。
- 安全に製品をご使用いただくために、作業時間の累積が200/500時間を超えたときにケルヒャーサービスエンジニアによる点検をお受けください。
- 点検を実施しない場合
蒸気が噴出しヤケドをする恐れがあります。
例：1日30分程度使用する場合は1年を目安に有償点検の実施が必要です（安全バルブ、各部品などの交換）。



注意

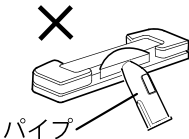
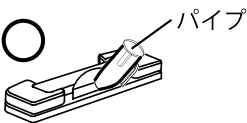
- 保管前に必ずお手入れをすること
- ボイラーの水を抜いた状態で保管すること
- 安全バルブを閉めた状態で保管すること
- 屋内のホコリのかからない、凍結しない場所に保管をすること。
凍結した場合には、自然解凍をしてください。
- 本体を倒した状態で保管しないこと。
ボイラーが損傷する場合があります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、以下のことをお確かめ下さい。

それでも解決しない場合は、**ケルヒャー カスタマーサービスセンター**までお問い合わせください。

このような時	原因	対処法
スチームが出ない	電源プラグがコンセントに接続されていない	▶ 電源プラグをコンセントに接続してください。
	本体のスイッチが入っていない	▶ スwitchを押し、ランプの点灯を確認する。
	水が不足している	▶ 本体が人肌に冷めるのを待って、給水を行ってください。
スチームが弱くなる	連続使用でボイラー温度が低下している	▶ 1~2分作業を中断し、再度スチームボタンを押してください。
スチームが水っぽいお湯が出る	作業を開始したとき、中断したときは、お湯が出ることがある	▶ スチームボタンを押し、布や排水口などに向けてお湯を排出してください。
	規定量以上にボイラーに給水している	▶ 本体が人肌に冷めるのを待って安全バルブを聞け、再度規定量 0.2 リットルを給水してください。
	本体を大きく傾けたりすると、ボイラー内のお湯がスチームと混ざってしまう	▶ 本体を平らな場所においてスチームホースを使ってお掃除ください。P.20 をご参照ください。
	本体を上向きに 30 度以上傾けている	▶ 高いところを掃除する時は、延長スチームホースを使ってください。P.20 をご参照ください。
スチームボタンが押せない	スチームボタンがロックされている	▶ ロックを解除してください。
本体下部より水漏れする	ボイラーが破損している可能性がある	▶ 使用をただちに中止し、修理センターで点検を受けてください。

このような時	原因	対処法
安全バルブが空回りして外れない	本体が十分に冷めていない ▶	本体を 1~4 時間程度冷まし、それでも外れない場合は、一日おいてから取り外してください。
本体が冷めた状態でも安全バルブが外れない。左に回せない。	ボイラーに圧が残っている ▶	スチームボタンを押し、ボイラー内の残圧を下げてください。
	安全バルブがきつく閉まっている ▶	力を入れて左に回してください。開かない場合は修理センター点検を受けてください。
安全バルブからスチームが漏れる	安全バルブが閉まっていない ▶	コンセントを抜き、本体が人肌に冷めるのを待って安全バルブを開めてください。
	安全バルブの O リングが損傷している ▶	O リングが損傷している場合は交換してください。
電源ランプが点灯しない	本体のセンサーが働いている、またはランプが切れている ▶	修理センターで点検を受けてください。
ノズルなどの接続が固い	接続部分の O リングが硬化、または損傷している ▶	接続が固い場合は水をつけるとスムーズに接続できます。硬化損傷の場合は交換してください。
電源コードが熱くなる	細い延長コードを使用している ▶	15A 仕様のコードを最長 10 m までで使用してください。またはコンセントから直接電源を取ってください。
フロアノズルのパイプが外れる	フロアノズルはパイプを下向きにすると外れます ▶ 	フロアノズルのパイプ部分は必ず上向きに使用してください。 

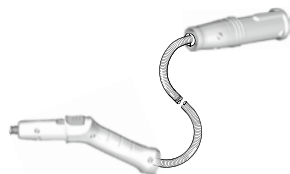
故障かな？と思ったら

補修部品

延長スチームホース

注文番号：2.863-021.0

JAN コード：4054278031491



ハンドブラシ

注文番号：2.884-280.0

JAN コード：4039784048065



延長パイプ

注文番号：4.127-024.0

※ 1 本での注文番号です。

JAN コード：4039784453395



フロアノズル

注文番号：2.885-142.0

JAN コード：4039784401778



ノズルヘッド

注文番号：4.130-431.0

JAN コード：4039784444645



安全バルブ

注文番号：4.590-113.0

JAN コード：4054278021317



安全バルブ O リング

注文番号：6.363-468.0

JAN コード：4039784391277



延長パイプ・延長スチームホース用 O リング

注文番号：6.362-922.0

JAN コード：4002667185829

ノズルヘッド用 O リング

注文番号：6.362-186.0

JAN コード



オプションアクセサリ

※仕様変更等により商品の形状が図と一致しない場合があります。

※注文番号は予告なしに変更になる場合があります。

 ノズルセット (スポットノズル+延長ノズル) 注文番号：2.884-282.0 JAN コード：4039784048089 スポットノズル（赤）と、ノズルを延長するための延長ノズル（黒）のセットです。	 クロス 5 枚組 注文番号：6.369-481.0 JAN コード：4002667378825 フロアノズル用クロス 5 枚組のセットです。
 ブラシ 4 個組 (赤 2 個、黒 2 個) 注文番号：2.863-058.0 JAN コード：4002667013191 お風呂場、台所、トイレなど色で使い分けできます。	 ブラシ 3 個組 (真ちゅう製) 注文番号：2.863-061.0 JAN コード：4002667015577 ブラシの毛の部分我真ちゅうでできており、こびりつきのひどい汚れを落とします。
 カバー 5 枚組 注文番号：6.370-990.0 JAN コード：4002667013122 ハンドブラシ用カバー 5 枚組のセットです。	 マイクロファイバークロスセット (キッチン用) 注文番号：2.863-172.0 JAN コード：4039784169869 ソフトフロア用クロス 2 枚、ステンレス製品用クロス 1 枚、ハンドブラシ用クロス 1 枚。フロアノズル用のクロスが入っています。
 クロスセット 注文番号：6.960-019.0 JAN コード：400266701 2576 クロス 2 枚、カバー 3 枚のセットです。	 マイクロファイバークロスセット (お風呂用) 注文番号：2.863-171.0 JAN コード：4039784169852 フロア用クロス 2 枚、仕上げ用クロス 1 枚、ハンドブラシ用クロス（研磨素材入）1 枚。フロアノズル用のクロスが入っています。
 スチームターボブラシ 注文番号：2.863-159.0 JAN コード：4039784060142 ブラシ先端が小刻みに振動するため、汚れをこする必要がありません。通常のブラシよりも、洗浄時間を 50% 削減できます。	 RM511 ボイラー洗浄剤 (スケール除去剤) スティックタイプ (9 本入り) 注文番号：6.290-239.0 JAN コード：4002667014822 ボイラー内部に付着した湯あかを除去します。※使用目安：50 回に 1 回

アフターサービス・保証

保証書

お買い上げいただいたケルヒャー製品に万一不具合が生じた場合には、この保証規定に従い保証いたします。

この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■保証の内容

お買い上げいただきました製品を構成する純正部品の材料または製造上の不具合が起きた場合、ケルヒャー ジャパン株式会社本社修理センターで無料修理をいたします。

（この無料修理を保証修理といいます。）

保証修理は部品の交換、あるいは補修により行います。

また、取り外した不具合部品は弊社所有といたします。

保証修理を受けられる期間は新品を購入した日から1年間とします。

■保証できない事項

●修理の際の輸送費用

●次に示すものに起因すると判定される故障は保証修理いたしません。

- ・取扱説明書の指示に反する使用
- ・保守整備の不備または間違い
- ・当社が提示している仕様の限界を超える使用（指定以上の長さの延長コードを使用した場合の電圧降下など、業務などで定格使用時間を著しく超えた連続使用など）
- ・当社が認めていない改造
- ・純正部品及び指定する油脂類以外の使用
- ・ご使用者の不注意による故障（凍結、ボイラー内への異物混入、落下による故障など）
- ・業務で使用した場合

●次に示すものは保証修理いたしません。

- ・経年変化により発生した不具合
- ・プラスチックカバーなどの自然退色、電源コード、ホースのひび割れ、Oリングの劣化、部材劣化に伴う性能低下など
- ・使用に際し品質、機能上影響のない感覚的現象（音、振動など）
- ・台風、水害、雪害などの天災による不具合
- ・薬品、塩害などに起因する不具合

●次に示すものの費用は負担いたしません。

- ・消耗品（油脂、ノズル、安全バルブ、Oリング、パッキン、バルブ、ホース、ブラシ、パット、クロス及びその他これらに類する消耗品）
- ・お買い上げ販売店以外での修理
- ・点検、清掃、調整及び定期点検整備
- ・この保証書に示す条件以外の補修費用など
- ・本機を使用できなかったことによる不便さ及び損失など（休業損失、商業損失など）
- ・洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合
- ・正しく操作せずにけがを負った場合

●出張修理はいたしません。

修理はお買い求めいただいた販売店へご依頼ください。

■保証の適用

この保証は日本国内で使用される弊社製品のものに適用されます。
海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が抹消されます。

■保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、下記の各項目にご記入いただき、お買い上げいただいた際のレシート/納品書を添付の上、保証修理をお申し付けください。

製造番号は、製品の裏側もしくは後部に貼られている銀色のラベルに記載されています。

■保証修理の申し込み方法

ご購入の際に受領されたレシートあるいは納品書と下記保証書を添付の上、お買い上げいただいた販売店にお持ちいただくか、またはケルヒャー ジャパン株式会社本社修理センターまでお送りください。

ご不明な点がございましたらケルヒャーカスタマーサービスセンターまでご連絡ください。お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

SC 1 クラシック		保証期間： 1年		製造番号：	
お買い上げ日 ： 平成 年 月 日					
お客様	ご住所：				
	お名前： 電話：() -				
販売店	住所：				
	店名： 電話：() -				
(故障状況)					

アフターサービス・保証

ケルヒャー ジャパン株式会社

本社： 〒981-3408 宮城県黒川郡大和町松坂平3丁目2番
TEL： (022) 344-3140

ケルヒャーホームページアドレス <http://www.karcher.co.jp>

製品に関するお問合せ

ケルヒャー カスタマーサービスセンター

0120-60-3140

受付日：月曜日～金曜日（祝日、当社休日を除く）

受付時間：午前 9 時～ 12 時、午後 1 時～ 5 時

修理品送り先

〒 981-3408 宮城県黒川郡大和町松坂平 3-2

ケルヒャー ジャパン株式会社

本社修理センター 宛

修理品をお送りいただく際には、31 ページの保証書に故障状況をご記入のうえ、必ず同梱してください。

1. 保証書が 30 ～ 31 ページに添付されていますので大切に保管してください。
2. 保証書の保証内容、保証規定をよくお読みください。
3. 保証書はお買い上げ販売店で必要事項を記入したものをお受け取り下さい。
4. 保証期間は保証書に記載されています。
5. 保証期間終了後の修理につきましては、弊社ホームページの「修理・アフターサービス」のページ（http://www.karcher.co.jp/jp/Service/support_hg.htm）をご覧ください。販売店もしくは上記ケルヒャーカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。